
Free World

Dream Neon

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Free World

【NZコード】

N1747W

【作者名】

Dream Neon

【あらすじ】

自由なウタで創った世界。Free World。
このウタはどこまで響くだろうか。

感想や評価、アドバイス等お願いします。

REVERSE

今の状況がいやなら変えよひじやないか。

考えただけで、結果が分かつてしまひ」となら変えよひじやないか。

悲しみの未来が待つてこらのならえてしまおひじやないか。

REVERSE

逆転。

状況を

結果を

未来を

逆転やせてやる。

REVERSEは

過去に戻るんじやない。

道を振り返つて歩むんじやない。

変えてやるんだ。

逆転させてやるんだ。

交換するわけじやない。

CHANGE

△△とは違うよ。

入れ替えるんじゃない。

REVERSE

戻つてやり直すんだ。
逆転させてやるんだ。

そのために歩むんだ

。

神様が忘れた道

その道が正しいなんて誰も知らない。

神様は道を作つたけど、

たくさん人の道を作りすぎてもう忘れちゃつてゐる。
だから、そこに何があるかなんて誰にも知らなくて

自分の目で見に行くしかないんだ。

もし落とし穴があつて落ちてしまつたら。
穴を昇つてまた同じ場所に戻るのもあり。

ずっと穴にいるのもあり。

もしかしたら、その穴から続く裏の道があるかも知れない。

何処に行くのも。
何をするかも。

それは自分の決断で決まっていく道。

神様は道筋を知らない。
だから教えてくれない。

神様はただ傍にいるの。

共に歩いていく人なの。

この先の道に“幸あれ”と望むけれど、
幸にも苦にも道のせいではなく、
自分の行動なのだと。

今を歩き、未来を手にするのは
自分なのだと。

そのことに気が付いたとき
神様は道を光り輝かせるのだ。

後悔の穴

後悔したんだ。

どうしてあの時

大切な物を手放してしまったのか。

それはきっと

その時は何も想つていなかつたから。

そこにはつても心に仕えとなり混乱させられたものだから。

それは未練に残る物だつたから。

なんて理由で手放して、
消えてしまった。

後悔。

今なら、大切な物になつていただろう。
残しておけば、思い出せる物を。

そこにあつた事実。過去。

もう無いと後悔。今。

どうして残さなかつたのか。
その理由は簡単。

未来が分からなかつたから。
未来が分かつっていたなら

あの時手放すことはなかつた。

それだけだ。

だけど、分かるはずがないんだ。
予想もつかなかつたことが起きたこと。

今を後悔してゐる。

何も戻らない。
何も変わらない。

あの時考えていた未来。
それとは大きく外れて、胸に大きな穴を開けたまま
この道を歩いてゐる。

戻りたい。

だけど、足は前にしか動かなくて
だけど、止まることしかできなくて。
だけど、ここから歩いた道を振り返るだけで。

後悔してゐる。
未練がある。

そのまま歩いてゐる。

もう戻れないから。
もう戻らないから。

この道をただ歩む。

きっといつか、この穴を埋める物が
見つかるまで
。。

祈ります。私を憎む人へ

私を憎む人とは
どれほどいるのだろう
私の存在で苦しむ人は
どれほどいるのだろう

私を憎むなら憎めばいい
だけど苦しまないでほしい

私の何を嫉むのか
教えてください

私が 改善しよう

そうすれば何かが
変わるんじゃないかな

恨まないで 憎まないで

そんなことは
あなたにはきっと無理だと思うから

私が 変わるべきなんだ

だけど何があなたを
そうさせるかはわからないから

私に教えてください

私と話すのも

嫌だとは思つけれど

だけど苦しまないでほしい
悲しまないでほしい

私のことで悩まないで

だけどそれは
祈るだけ

私の声は

あなたには聞こえないでしょう

聞きたくもない 声を
知りたくもない 思いを

私に死ねと望むなら それで私は死ねばいいのか
私の存在を無くせば 全て終わると言うのだろうか

何を改善して良いのかも解らないまま
私は去つて行かなければならないのか。

どれほど憎み、妬み、恨み、苦しみ、悲しみ

私には解らないから

だって私は　あなたを嫌いじゃないものの。

どうか苦しまないで。
どうか悲しまないで。
何をすればいいのか
教えてください。

そしていつか笑ってください。

この思いは届かないけれど。
祈ります。

闇の中で眠る者よ

トクン…トクン…

鼓動の音を立てて
闇の中で眠る者よ

命を授けられた者
未来に生きる鼓動

そんな希望を抱く
光の命を持つ者が

死ぬシカクなんて
アルハズ無イノニ

何故、未来を歩く
足を地に着かせる
事さえ許さない？

どんな闇の中でも
小さな夢を願つて
祈り叶える事さえ
許さないのだ…

どんなヒトにでも
未来というものが
希望というものが

何故未来を見れぬ

闇の中で眠る者よ
そなたのミライを
幸せにすることは
出来るのだろうか

ただヒカリの道へ
進めるようにしか
願うしかない私を
許してください。

愛する我が子……

どうか天の国へ。

背負う命

望まれぬ命など無い。

皆望まれて産まれた命。

それなのに、

望んでも産まれることが出来なかつた命がある。

望まれて産まってきた自分たちが
軽々しく生きることに疲れ、諦め、
命を捨てるなどあつてはならないのだ。

誰もが望まず、

それでもたつた一人に望まれ
産まってきた命だつて
たつた一人でも望まれ
産まれて来れたことに
感謝するべきなのだ。

どんな事があつても。
どんな状況であつても。

ここに生きられること。
精一杯生きていいくこと。

それがこの世界に
産まれることが出来なかつた命へ
報いることが出来るのではないか?

私たちはたくさんの命を背負っている。

空に夢を

いつか大空を飛んでみたい。

人が空を飛べないなんて誰が言つた?

夢を持つたつていいじゃない。

手を広げて、いつまでも続く空を

畠田に、畠田に飛ぶ。

風を切って、くねくね回つて

子供が さしゃべり

大空で さしゃべり

好きなみづ 飛んでいく。

何処まで飛んでいこうかな。

空は何処にでも繋がつているから。

疲れたら、羽がそつと落ちるみづ

足を降りて、地へと戻る。

私たちには地に生れるもの。

だから、
特に生きてみたいと
夢を見るのはおかしいかな？

真実の狭間

怖い。

真実を知るのが。

真実を知ることが
本当に良いのか
それとも後悔してしまうのか。

真実を知つて

この気分は軽くなるのか
それとも重さを増すのか。

光に救われるのか
闇の中に囚われるのか。

今その狭間にいるんだ。

道は二つ。

知るか否か。

最終的に決めるのは

他でもない自分なんだ。

何が正解なんだろう。

真実は一つと言つけれど
その一つを見出すことに
どれだけ悩めばいいんだろう。

望むことなら

良い真実に

気分すら軽くなつて

光の世界でありたい。

ああ。この願いは届くのか。

今、真実を知る。

信頼

ねえ知ってる？

信頼を失うことってすげー簡単なことなんだよ。

でもね。

信頼を築く事つて

数日や数ヶ月なんてものじゃなくて

何年も何十年も掛かって

そつして得たものが信頼なんだ。

それをや。

一瞬で信頼を失うつていうのは
せっかく登った階段から足を滑らせて
どん底まで落ちる」とと同じなんだよ。

階段を、一段、三段飛ばしで登つたって
今いた場所まで戻るには、
あと何万段、何億段登ればいいのかな？

信頼を失うつて怖いこと。

だから、今の関係を崩さないようにな
壞さないようにしていく自分がいる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1747w/>

Free World

2011年11月17日19時35分発行